



## 会長就任にあたって



ほおづえ会会長 三谷 創(7期)

ほおづえ会の会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか？

本田前会長の後を受け、新しく会長を務めることになりました三谷です。会員の皆様宜しくお願いいたします。

同窓会活動も平成6年9月から始まり、14年目に入りました。

同窓会設立当時の名簿作成や会報作成など裏方として作業していたことが懐かしく思い出されます。

喩えではありますが、布は縦と横の糸からなっています。先輩から後輩は縦の糸、同級生のつながりは横の糸。この布が同窓会だと思っています。そしてこの布(社会の中の人脈)を大きく広げていって欲しいと思っています。

私自身も東京時代、建築学会のシンポジウムで宮川先生のおかげで大学の先生、設計事務所、技術研究所の方々など多くの人脈を広げることが出来た経験があります。

今後の「ほおづえ会」ですが、会員相互が参加できる会として会員の親睦をおこない、若い卒業生にも参加してもらえるように情報を提供していきます。

「ほおづえ会」のホームページも新しくドメインを取得し、リニューアルをおこない、機能も増え、会員相互の情報交流を含め、みなさんのお役に立つことと思います。掲示板を見て、是非書き込みをしていただき、いっそうの情報交換が出来ればうれしく思います。

「ほおづえ会」は、会員相互の情報交換、親睦の場として継続していきます。

同窓会活動に対して、これまで以上の参加と援助をお願いし、皆様のご協力を宜しくお願いいたします。



## ほおづえ会からのお知らせ



### ■ホームページリニューアルのお知らせ

「hoozue.org」の独自ドメインを取得し、このたびほおづえ会のホームページをリニューアルいたしました。旧来に比べて容量も自由度も上がり、土台だけはきちんと整備できましたので、後は内容的に充実するのみです。今後は特に鮮度の要求される情報の発信を積極的に行い、皆さんに有意義に活用していただければと思っております。掲示板の管理も強化されましたので、健全な発言の場として、どんどんご利用下さい。

事務局からのお知らせですが、現在真っ白な表紙を飾るステキな画像やフラッシュを募集中です。

最後になりましたが、新しいアドレスは

[\[http://hoozue.org\]](http://hoozue.org)

になります。

今後共よろしく宜しくお願いいたします。

### ■住所変更の届出のお願い

現在ほおづえ会では名簿発行しておりません。会報などの連絡・郵送のために会員1名につき、住所1つのみを管理しております。住所変更の際には、お手数ですが下記の名簿担当幹事または事務局までご連絡下さい。

e-mail: [utd@ishikawa-nct.ac.jp](mailto:utd@ishikawa-nct.ac.jp) (内田)

尚、ほおづえ会と石川高専の全体同窓会とは住所データの管理は別になっておりますので、お手数ですが住所・勤務先・電話番号などの変更や登録、発行名簿に関する問い合わせは全体同窓会の方へお願いいたします。

### ■会費納入のお願い

ほおづえ会は、会員の皆様の会費によって運営されています。平成19年度会費(3,000円)の振込用紙を同封させていただきますので、会費納入のご協力をお願いいたします。

石川工業高等専門学校 建築学科 同窓会会報

Vol.16

<http://hoozue.org>

ほ

お

づ

え

平成19年10月30日発行

■ 企画編集 / ほおづえ会

■ 発行 / ほおづえ会事務局

ほおづえ会事務局

(石川工業高等専門学校建築学科同窓会)

〒921-8031

石川県金沢市野町2-1-17-101

一級建築士事務所 宮川設計室内

TEL / 076-244-9360

FAX / 076-244-9365

# 平成19年度 ほおづえ会 総会報告



平成19年8月11日、ほおづえ会総会が開催され、以下の議案について承認されました。

## ◎平成18年度 事業報告

- ・松任駅前フェスタ2006参加(平成18年8・9月)
- ・会報15号発行(平成18年11月)
- ・浅野川園遊会ボランティア(平成19年4月)
- ・ホームページの更新、充実

## ◎平成18年度 収支決算報告

(平成18年8月1日～平成19年7月31日)

### <収入の部>

・会費(正 3,000円× 81名)	243,000
・会費(準 1,000円×209名)	209,000
・松任駅前フェスタ懇親会費	20,000
・雑収入	22,742
・預金利息	921
・前年度繰越金	688,925

合 計 1,184,588

### <支出の部>

・総会費用	6,860
・会議費	2,430
・事務費(ラベル,封筒)	12,808
・印刷費(会報,払込書印字)	36,750
・通信費(会報送料等)	78,880
・事業費(松任駅前フェスタ)	63,200
・次年度繰越金	983,660

合 計 1,184,588

## ◎平成19・20年度 役員

会 長	三 谷 創(7期) <新任>
副 会 長	越 野 明(9期) <新任>
	石 村 聖一郎(11期) <新任>
	山 田 雄 一(13期) 企画担当
常任幹事	石 田 和 彦(10期)
	西 智 明(13期)
	山 岸 学(16期) HP 担当
	内 田 伸(20期) 名簿担当
	村 田 一 也(20期) 郵送担当
	中 田 伸 也(22期) <新任>
	本 谷 智 子(24期) <新任>
	大 杉 建太郎(29期) 広報担当 <新任>
会計監査	宮 川 浩 志(2期) <新任>

## ◎平成19年度 事業計画

- ・松任駅前フェスタ2007参加(平成19年10月)
- ・会報16号発行(平成19年10月)
- ・浅野川園遊会ボランティア(平成20年4月)
- ・ホームページの更新、充実

## ◎平成19年度 収支予算

(平成19年8月1日～平成20年7月31日)

### <収入の部>

・会費(正 3,000円×100名)	300,000
・会費(準 1,000円×200名)	200,000
・前年度繰越金	983,660

合 計 1,483,660

### <支出の部>

・総会費用	100,000
・会議費	30,000
・事務費	50,000
・印刷費(会報,払込書印字)	50,000
・通信費(会報送料等)	150,000
・事業費(松任駅前フェスタ)	100,000
・事業費(学校補助)	200,000
・事業費(HP維持費)	100,000
・慶弔費	50,000
・雑費、予備費	653,660

合 計 1,483,660

# 会 員 近 況

富樫 吉規(20期)

早いもので、高専を卒業してから10年以上経過しました。その間、同期生の妻と結婚し双子の子どもを授かり、それを契機に転職も経験し、現在に至っております。

現在は屋根と外壁に携わる仕事に就いており、施工図の作成・元請との打合せ、工事がスタートしたら現場での管理と、日々忙しく過ごしております。

現場に行ったら、全て自分たちのペースで仕事を出来るわけでもありませんので、他の職種との調整等が現場に行っても大変な事です。

建築の現場では色々な人との出会いがありますし他の色々な仕事を見ることが出来ます。

毎日、100人以上の人々と一緒に現場で働いているわけですが、この人は「プロフェッショナル」、「職人」だなと感じる人と出会うことが出来ます。

ただ単に仕事が速いとか、見てくれがきれいとかではないのですが、その「職人」を見ていると、しっかりと仕事の基本や手順を踏んで作業を進めていることに気付きました。

とても簡単な事でも確実に手順を重ねることによって仕事を完成させていくというのは実はとても難しい事でもあり大変な事なのだと思います。

あと「プロフェッショナル」と感じる事が出来る人は、年齢や経験年数は関係なく、実はその仕事がとても好きなのだと思います。自分はいわゆる「職人」ではありませんが、ことわざにもある通り、その仕事が好きで、楽しく作業する事が、「プロ」への道なのだと感じる日々です。

就職してからずっと現場仕事をしてきましたが、最近になってようやくこの事に気付いてきた次第です。

実際、現場では楽しくない日々の方が多いのですが、外壁の工事が終わり、仮設足場が払われて見える建物の姿を見た時の達成感はとても格別なものがあります。

自分としてはこの瞬間が「好き」に繋がれば少しでもプロに近づけるのでは…まだまだ遠い道のりです。

さて、明日はどんなプロフェッショナルに出会えるでしょうか。

# 事業ニュース

## ●松任駅前フェスタ「千代女の小路 行灯づくり」(継続事業)

### =参加報告=

再開発の進むJR松任駅前の、にぎわい創出を目指す「松任駅前フェスタ2007」が昨年に引き続き、駅前周辺で開催された。主催は地元の人たちが中心となっている駅前フェスタ実行委員会。

昨年に引き続き、「ほおづえ会」として、行灯作成に協力することになった。フェスタの土曜日夕方に、おかりや公園に配置した。NPO法人バリアフリー総合研究所と石川県建築士会まちづくり委員会との合同で製作した。

【北陸中日新聞 平成19年10月7日(日)朝刊】



今回は、小学生の親子を事前に募集した。10組の親子が参加した。我々は、各親子に行灯の作り方を指導するという立場で参加した。

フェスタの開催日の前に、関係者が集まり、行灯の作り方を練習した。なかなか良い出来栄だ!



中の灯りは、昨年同様に、電池式の「ゆらぎ」を演出する照明ということで、仏壇用のものを設置。

今年も完成品には、さりげなく「ほおづえ会」のシールを貼らせてもらう計画。



さて、いよいよ行灯づくり作成当日。行灯の作り方を子供に三谷会長が説明する。皆、真剣に聞いている。



いよいよ骨組みの組立て。一緒に参加してくれた高専生は、子供に真剣に教えてくれている。



この骨組みに、和紙を張るのだが、俳句を書いたり絵を書いたり、いろいろ楽しもう!という企画である。骨組みが出来上がったところで、皆で外に出て俳句資料館等を散策し、俳句を考えてもらう。帰ってきたら、早速、俳句を書

いたり絵を書いたりして、完成させる。これが、思ったより時間がかかったが、子供たちは真剣で楽しそうだった。



さあ、出来上がった!皆、自分の行灯に自信があるようだ。



皆で、おかりや公園に並べるぞ!

昨年我々で作った行灯も一緒に並べて、なかなか幻想的な良い雰囲気になった。



今年で2回目となった、行灯づくり。今回は、子供たちに教えるという新たな試みであった。この行灯づくりの実績をもとに、今後なにかしらの展開を考えていきたいと思う。

来年以降、是非、同窓会会員の大勢の皆様の協力をお願いしたいと思う。  
副会長 山田 雄一

# 学内ニュース

## 新任教員あいさつ

永藤 壽宮

私は、今年度の1年間、機構の高専間教員交流制度の交換交流として船戸先生が長野高専に、私が長野高専から石川高専にやってまいりました。専門は構造力学担当で、研究テーマは塑性設計限界について研究しております。また課外活動としては、11月開催の全国高専デザコン2007in周南に向けブリッジコンテストのステンレス橋の担当として学生と一丸となって頑張っております。

石川高専の印象は、「学生一人一人が、やさしい・挨拶ができる・独立心がある」、「IT関係のハードウェアが充実している」等々あります。建築学科の学生を見ると皆が「心ある」素晴らしい学生で、発見と感動の毎日です。このまま、石川高専に残りたいと思う今日この頃です。

この1年間の中で微力ながら建築学科の学生の役に立つ教材と心の中に何かを残していこうと日々頑張っております。OBの皆様におかれましては、ボウリング大会などイベントでもお会いできるかもしれませんが、来校された折には、建築学科棟1Fにありますので、気軽にお声をおかけ下さい。

## ●デザインコンペティション2007

デザコン2007:今年で第四回を迎える全国高等専門学校デザインコンペティションは徳山高専(山口県)で、11/16～17まで開催されます。石川高専建築学科からは一次予選の結果、環境デザイン部門に2作品、空間デザイン部門



に2作品、構造デザイン部門には学内選考を通過した1チームが参加します。(左下:構造部門学内予選後の記念写真)

- 平成18年10月 「おかしなお菓子な家づくりコンテスト」開催
- 平成18年11月 第3回全国高専デザコン参加(都城高専)
- 平成18年11月 「建築学科第8回ボウリング大会」開催
- 平成18年11月 建物の安心・安全を考える建築シンポジウム開催
- 平成19年3月 能登半島地震災害地調査(教員)
- 平成19年4月 永藤先生着任(高専間教員交流)
- 平成19年4月 能登半島地震災害地調査ボランティア(教員・学生)
- 平成19年4月 浅野川園遊会ボランティア参加
- 平成19年4月 「建築学科第9回ボウリング大会」開催
- 平成19年5月 ベンチの公開展示(県民みどりの祭典)
- 平成19年7月 体験入学実施(500人以上が参加)
- 平成19年9月 課題中西悟堂記念館作品展示(ふるさと異人館)
- 平成19年9月 津幡町どまんなかフェスタでベンチ公開展示
- 平成19年9月 第34回石川県デザイン展出展(入賞2点)
- 平成19年10月 武蔵・近江町再開発現場曳き家見学
- 平成19年10月 「おかしなお菓子な家づくりコンテスト」開催
- 平成19年10月 第42回紀友祭およびオープン・カレッジ

## ●「学生支援GP」と「社会人学び直し教育」

表題は、省略して書いていますが、前者は「大学革新推進事業 新たなニーズに対応した学生支援プログラム 学外連携活動による人間力向上教育システム」という長ったらしい名前のプログラムです。新聞でも報道されましたのでご存じの方も多いと思いますが、学生支援機構から今年度後半と来年度で各々2千万円程度の予算が付く予定です。

後者は、「社会人学び直しニーズ対応教育推進事業 環境に配慮したコンクリート構造物の品質評価と劣化診断プログラム」という、これも長ったらしい表題で、これも文科省から今年度以降3年間で計2千5百万円の程の予算です。コンクリートの調査診断技術を座学と実習を通して、社会人に教えようとするものです。今年度分は既に閉め切りましたが、来年度以降も実施しますので、耐震診断の前調査としての建物調査など興味のある方は是非参加して下さい。ちなみに、講座は土日計6日間で受講料は無料です。

前者に話を戻しますが、能登半島地震後のボランティア、その後県から依頼された調査等を通して、能登地域の復興



RC壁試験体(高さ3m長さ10m)



災害地調査ボランティア

に石川高専として何か出来ないかを、協議しているうちに、学生諸君の教育に役立つプログラムを作ろう、との考えから出来たプログラムです。学生諸君に社会に出て直ぐに動けるように、技術力だけではなく、コミュニケーション能力、コーディネート能力などを身に付けて貰うのが目的です。つまり実習を通して、仕事の実際の運び方、チームのまとめ方、問題解決の方法等を学んで貰おうというものです。これに対して、学校はどんな形で支援するのか、をプログラムとして計画したものです。学校外で学ぶ科目を「社会参加型科目」と位置付け、ボランティアを、専攻科の創造工学演習、あるいはインターシップなどと並ぶ科目として認定し、活動の成果を単位化して評価する等も視野に入れて進めます。これは、学校にとって大きな変化が生じる可能性もあるプログラムです。現在、学生主事の機械工学科松田先生がチーフで、その元に各学科からの委員がWGを構成し計画案を検討中です。手始めに、ボランティア学の講座を、10月から1年生は1回、3年生は3回今年度中に受けて貰うこととなります。その他の具体的なボランティア活動については、穴水町はじめ能登各地のNPO、行政のメンバー等と緊密に連絡しながら進めます。(文:江口清)

## ●建築学科ボウリング大会

—第10回は11月22日の予定—

本企画ボウリング大会は、年2回(4月と11月)のペースで継続し、11月で、とうとう10回目を迎えます。毎回参加者は100名を越える規模です。

※参加したい方は4月と10月頃、ほおづえ会HPをチェック下さい。